

ひが
し
み
の

Heartful Communication

JAグループ

耕そう、大地と地域の未来。



特集

自己改革への挑戦

～組合員・利用者の皆さまに必要とされるJAを目指す～

パート2



12

2018 DECEMBER

Vol.249

自己改革への挑戦

～組合員・利用者の皆さまに必要とされるJAを目指す～

PART 2

今回の特集は先月号にひきつづき、JAひがしみの自己改革に向けた主な取り組みをご紹介します。



実践事例紹介

Ⅱ. 総合事業展開による地域の活性化



食と農を学ぶ「まめなかな運動」の普及

岐阜県下JAグループでは女性部と連携して、小学生を対象に「まめなかな運動」を展開しています。「まめなかな」とは岐阜の方言で「お元気ですか?」という意味と大豆の「まめ」がかけられています。この運動では大豆の栽培から収穫、豆腐や味噌への加工を通じて、食の在り方や大切さを見直すきっかけづくりになっています。



親子で農業体験「アグリスクール」の開催

当JAでは管内4地域でアグリスクールを開催しています。

これは家族や友だち、地域の人々とふれあいながら野菜の収穫のよろこびや食べることの大切さを学ぶことを目的としています。今年度は4地域で31組の親子が参加しています。アグリスクールでは、JA営農指導員によるなすやトマトなどの定植や収穫の指導、JA食農リーダーによる収穫した野菜を使って作る昼食も魅力です。



協同の力を活かした 助けあい組織

管内の4地域にはJA女性部員で構成された助けあい組織「たんぽぽの会」「コスモスの会」「わかば会」「新つくしの会」があります。各組織は福祉施設での寸劇や手遊び、地域の清掃、イベントへの参加などを通じて、地域の活性化に貢献しています。また、当JAでは全職員が「認知症サポーター養成講座」を受講し、安心して暮らせる地域づくりに貢献しています。





東美濃地域の農畜産物を無償提供

当JAは管内の児童養護施設2カ所に食材を提供し、子どもたちの健やかな成長を支えています。岐阜県下JAグループは、県内の児童養護施設や子ども食堂へ地元の農畜産物や加工品を提供しています。当JAは中津川市千旦林の「麦の穂学園」と、恵那市大井町の「白鳩学園」へいちごや飛騨牛、夏秋トマト等を提供し、両施設から感謝状を授与されました。



組合員・ご利用者さまの意思を反映する 地域別座談会の開催

当JAは平成28年度から地域別座談会を開催しています。座談会は第6次中期計画の基本目標の達成に向け、組合員・利用者の皆さまとJA役職員との間で徹底的な議論を行い、今後の運営に反映させることを目的としています。座談会は幅広い意見や考えを拝聴できるよう、参加対象者を組合員・利用者の皆さまに限定せず、管内在住であればどなたでも参加できるとしました。案内はJA広報誌や各支店・アグリセンターの職員が配布するとともに、支店長・アグリセンター長も担い手・認定農業者の皆さまを訪問し、直接参加を呼びかけました。座談会では「営農指導の専門部署を設置してほしい」「農作業の受託作業について知りたい」「鳥獣害に対するJAの取り組みや対策はあるのか」などの意見や要望があがりました。



親子で農業と食に触れる カンガルー劇場の開催

当JAは、子育て世代の若い女性を対象とした講座「カンガルー劇場」を平成27年度より開講しています。講座名は、カンガルーの親子がいつも仲良く一緒にいる姿から名付けられました。参加者は、地元農産物を活かした食農教育や親子のコミュニケーションに役立つ本の読み語りについて学びます。

講師を務めるのは、当JA女性連絡協議会の三尾揚子会長。今年度は全8回の開講で、子どもが喜ぶ絵本の読み方や大豆まき、手袋人形づくり、げんこつあめづくりを行います。



合言葉は「地域の元気はJAのみなもと!」 地域貢献活動を展開

恵那市で9月22、23日に「2018ENAみのりのみのり祭」が開催され、当JAは創作神輿の競演で牛をモチーフにした神輿を担ぎ市内を練り歩き、観客に地元産コシヒカリのキューブ米や焼栗ぼろたんを無料配布しました。また、地元産のコシヒカリと栗をつかった栗ごはん1,200食を販売しました。今年度は4月に恵那峡ハーフマラソンでランナーにおにぎりを3,000個提供、8月にはJA岩村支店で「トマト五平餅」を600本販売、他にも各支店で地元の祭り・イベントに積極的に参加し、地域貢献活動を行っています。





くらしの困りごとを相談 生活アドバイザーを設置

当JA「くらしの支援グループ」は、管内で進む高齢化や過疎化による買い物弱者の皆さまを支援するため、Aコープマーク品の宅配サービス「くらしの宅配便」の利用促進に力を入れています。

同グループに在席する生活アドバイザー4名は、毎週会議を行い、組合員の皆さまのご家庭を訪問した際のニーズの共有や意見交換、Aコープの新商品の特性や活用方法を学んでいます。



正しい知識を身につける 肥料農薬研修会を開催

当JAは職員が組合員の皆さまのご家庭を訪問した際、営農担当者以外でも肥料・農薬に関するご相談にお応えできるよう、「肥料農薬研修会」を平成29年度から開催し、職員の知識向上に努めています。

6月の研修会では全農岐阜県本部職員が「肥料の基礎知識について」「農薬の基礎知識について」と題した講義を行い、農薬の種類や特徴、主要病害虫、また肥料の役割や土作りなどを学びました。



支店運営委員会の提案で イベント開催

当JAでは、組合運営や支店を拠点とした活動に反映させることを目的に、各支店で支店運営委員会を年2回開催しています。

JA坂本支店では支店職員と運営委員会が協力し、8月より年金支給日に「朝市」を開催し、坂本地区で生産された野菜を販売しています。



地域で役立つ 移動販売車を導入

移動販売車「愛・あい ひまわり号」は、当JA管内で進む高齢化や過疎化による買い物弱者の皆さまを支援する目的で導入。生鮮品や日用雑貨品などを取扱い、月曜日から金曜日に5コースに分かれ、1日に集会所など約10カ所を巡回し、毎月約500名の方に利用していただいています。利用者の緊急時に対応するため、AED(自動体外式除細動器)も備えています。





組合員の皆さまへ 特典を提供

組合員加入は最寄りの支店でお手続きできます。組合員加入すると各金融キャンペーンでの特別金利の上乗せやJA葬祭利用時の割引などさまざまな特典があります。

また、当JAではAコープのメンバーズカードを所有する組合員の皆さまを対象にAコープマーク品の割引券を配布しています。対象商品は毎月更新され、組合員の皆さまのメリット化と店舗利用増加を目指しています。



農業を食べて・作って応援する 貸農園「ライフファーム東野」

当JAは恵那市東野に貸農園「ライフファーム東野」を平成30年4月1日に開園し、地域の皆さまが野菜作りを通して農業への関心を深め、収穫の喜びや食の大切さを知る取り組みとしています。

同農園は県下JAグループが准組合員の皆さまを対象とした「農業の応援団」の一環でもあります。ご利用者の中で組合員の皆さまには特典としてJA営農アドバイザーによる栽培指導が無料となるサービスを提供。トイレや駐車場を完備し、農具の無料貸し出しサービスなどもあります。



Aコープ全店で利用者懇談会

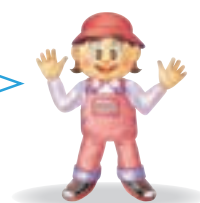
当JAのAコープ全店は経営改善やサービス向上を目指し、ご利用者を対象に利用者懇談会を開いています。利用者懇談会は全店で約40名の参加があります。生活アドバイザーによるおすすめのAコープマーク品の紹介も行われ、商品のPRに努めています。

懇談会では「美味しい料理のレシピを配布してほしい」「午前中で特売品が完売してしまう」「価格を見直し、近くの大型店との差別化をしてほしい」などの意見・要望をもとに店舗の運営に反映させていきます。



JAひがしみのが取り組む
自己改革について、ご意見・ご希望などが
ございましたら、下記まで
お気軽にお寄せ下さい。

TEL 0573-78-0124





「農産物品評会」に出品された農産物

約1万人が来場 第14回ひがしみの農業祭開催

ひがしみの農業祭実行委員会は11月11日、中津川市の東美濃ふれあいセンターで「第14回ひがしみの農業祭」を開催しました。

今回のメインテーマは「味わおう！東美濃ブランド～地産地消で繋ぐ地域の輪～」。生産者と消費者の皆さまとのふれあいの場として、東美濃地域で生産された安全・安心な農畜産物と地域資源を有効活用した加工食品の販売を通じ、地産地消の取り組みを広めることを目的としています。

当日は屋外では4地域の支店による特産品の販売や、「栗旨豚」の豚汁、地元産の夏秋トマト、コシヒカリのおにぎりの無料配布がおこなわれ、長い行列ができました。

屋内では今回「ビューティーマルシェ」を新設。普段農業に携わる女性をターゲットに、ネイルやアロマ、メイクが体験できる10店舗が並びました。他にも、当JA女性部と食農リーダーが中心となった企画「太巻き寿司に挑戦！」では約100名の親子が20メートルの太巻き寿司づくりを楽しみ、その後は『家の光』で紹介された「ミニモップ」づくりが行われました。

同実行委員会足立能夫会長は「今後も消費者との交流を通じ、東美濃管内の農業振興や地域の活性化に貢献したい」と話しました。

※P10「農句」では「農産物品評会」と「農畜産物農業経営コンクール」の結果をご紹介します。



開会の挨拶をするひがしみの農業祭実行委員会
足立能夫会長



太巻き寿司をつくる親子



4地域支店による特産品の販売

自己改革の実践へ 役員が担い手農家を訪問

当JAは地域農業の担い手の皆さまへの訪問を10月からはじめ、JA足立能夫組合長ら常勤役員6名が第7次中期計画の策定に向け、JAに対する意見や要望の聞き取りを行っています。

役員による訪問活動は自己改革に向けて、平成28年度からはじまったもので、当JAの事業に対して進捗状況进行评估するアンケートを配布します。

足立組合長は11月16日に富田営農を訪問。安藤敏郎組合長は「農地を守っていくためには若い後継者を育てなければならない」「肥料や資材に関して、大口利用のメリットをさらに実感したい」などの意見があがりました。足立組合長は「地域とJAが一体となり、自己改革の着実な実践に繋がりたい」と力を込めました。



安藤組合長から意見を聞き取るJA足立組合長④

「ちなみな!」JAひがしみの編 12月26日(水)放送

岐阜県下JAグループは岐阜放送と連携して農業応援番組「鈴木ちなみの元気のみなもと! (愛称「ちなみな!」)」を平成28年度から制作しています。

「ちなみな!」はタレントとして活躍中の鈴木ちなみさん(多治見市出身)が県内7JAを巡り、農業や地域の人々とふれあいながら、岐阜県の魅力を紹介する番組です。

JAひがしみの編では恵那市武並町で自然薯の収穫や、らっせいみさと(恵那市三郷町)でそば打ち体験、(農)はちたか(中津川市福岡)で芋もちづくりや、獣害の現状をお伝えします。

番組はぎふチャンで12月26日(水)午後7時30分から放送。ぜひご家族でご覧ください。



「らっせいみさと」でそば打ちを体験するちなみさん



「農はちたか」で里芋の収穫について説明を聞くちなみさん



中野方地区でワイヤーメッシュの設置の仕方を学ぶ参加者

地域ぐるみで対策徹底 野生獣侵入防止柵

恵那市と恵那農林事務所は当JA管内で広がる野生獣による農産物被害を食い止めるため、11月14日に恵那市岩村町、18日に恵那市中野方町で野生獣侵入防止柵の集落管理講習会を開催しました。

中野方地区の講習会でははじめに恵那農林事務所が設置前の注意点として、潜り込みを防ぐため柵の下に隙間を残さないことや補修・点検のために柵の管理道を確保する事などを紹介。設置後は集落全体で情報を共有する定期的な話し合いの場の必要性を呼び掛けました。

設置指導には「未来のアグリ(株)」が講師となり高さ180cmの柵の説明にあたりました。

同講習会に参加した恵那市有害鳥獣被害対策協議会の鈴木節生代表は「国や県の助成制度を活用し、将来的に同地区に全長約30kmの柵の設置を構想している。地域ぐるみで取り組んでいきたい」と話しました。



里芋ご飯を五平餅風ににぎる説明をする高校生

高校生が考案 地元食材を使った給食献立披露

恵那農業高校と恵那南高校は恵那市内小中学校の学校給食の献立を考案し、11月20日の小学校訪問で、献立の披露と交流会を行いました。

この取り組みは、高校生の安全・安心な農産物や食材の流通・利用に対する知識と理解を深めることや、小中学生に食に対する感謝の気持ちや食文化について学んでもらうことを目的としています。

交流会では、恵那農業高校が大井第二小学校、恵那南高校は明智小学校を訪問。明智小学校では「里芋ご飯」と「えなっこちゃんこ汁」が提供されました。「里芋ご飯」は高校生の指導のもと、児童は里芋と炊かれたご飯をビニール袋に入れ手でつぶし、串に刺しわらじ型に整え、五平餅風にアレンジ。「えなっこちゃんこ汁」は地元産の野菜や山岡町の特産品「細寒天」を入れたものです。

高校生は「喜んで食べてくれる姿が嬉しかった。地元でとれた新鮮で美味しい食材をもっと知ってもらえるように、メニューの種類を増やしたい」と話しました。

■ 年末年始の贈答品 自然薯目揃会

当JAと恵那自然薯生産組合は11月20日、JA東野営業所で出荷目揃会を開き、14名が参加しました。

同組合は現在7戸が33aで自然薯を栽培し、全量JAへ出荷。環境に配慮した「ぎふクリーン農業」を取得し、安全・安心な生産に加え、共同施設で種芋の生産を行うなど品質の統一を目指しています。自然薯は、同JAえなグリーンセンターで3,240円(税込)で販売する他、12月3日から21日まで全国へ3,940円(送料・税込)で発送します。

同組合の伊藤正博組合長は「皮に風味も栄養も含まれているため皮ごと味わってほしい。滋養供給効果も期待できる」とPRします。



出荷規格を確認する同組合員ら



表彰状を授与される鎌田真悟代表取締役②

■ 恵那川上屋が農林水産大臣賞 地産地消等優良活動表彰式

(株)恵那川上屋は農林水産省と全国地産地消推進協議会が主催する「平成30年度地産地消等優良活動表彰」で農林水産大臣賞に輝き、11月3日に表彰状を授与されました。

同表彰は食料自給率の向上を図るため、農林水産業の担い手や後継者の育成、環境への負担軽減等、地産地消や国産農林水産物の消費拡大に資する活動を複数行っている団体や企業、個人を表彰するものです。

(株)恵那川上屋は「栗きんとん」の原料となる栗の生産量確保のため、安定した高単価取引や全量買い取りの仕組みを構築。地域の生産者の所得向上を実現した点等が評価されました。



信用・共済事業における現金・通帳等をお預かりする際の大切なお知らせ

日頃は、当JAの信用・共済事業をご利用いただき、誠に有難うございます。
当JAでは、現金・通帳等をお預かりする際のご注意点を下記の通りとさせていただきますのでお知らせいたします。

お手数をおかけしますが、何卒ご理解とご協力の程お願い申し上げます。

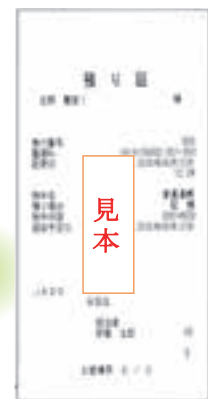
- ① 現金や通帳・証書等をJA職員がお預かりするときは、JA所定の「預り証」または「受取書」を必ずお受け取りください。
- ② 当組合の信用・共済事業における各種商品・サービスのお手続きに際し、お客様から現金や通帳・証書等をお預かりするときは、必ず引き換えに「預り証」または「受取書」をお渡ししております。
- ③ 「預り証」または「受取書」をお渡ししないで、現金や通帳・証書等をお預かりすることは絶対にありません。
- ④ 「預り証」または「受取書」は、後日、現金や通帳・証書等をお受け取りになるまで、大切にお持ちください。
※現金や通帳・証書等をお渡しした際に、引き換えに「預り証」または「受取書」を回収させていただいております。
- ⑤ 「預り証」または「受取書」は証書ではありません。お取引のご指定日から1週間経っても通帳等が届かないときは、当組合の本店リスク管理室または本店金融部、共済部にお問合せください。
※その際は、担当者へのお問合せはお控えください。
- ⑥ お取引やお取扱いの内容によっては、支店等を通じてご回答する場合がございます。

【お問合せ先】 リスク管理室 電話番号 0573-78-0164
金 融 部 電話番号 0573-78-0125
共 済 部 電話番号 0573-78-0126

【受付時間】 平日 8:45～17:00



見本



見本

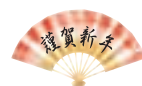
あい・あい会員対象「味噌作り」講座のご案内

- | | |
|--|---|
| ■中津川地域
日程 平成31年2月18日(月)
場所 JA本店(トマト選果場)
時間 13:30～ | ■恵南地域
日程 平成31年2月26日(火)
場所 JA恵南アグリセンター
時間 13:30～ |
| ■恵那地域
日程 平成31年2月14日(木)
場所 ハンズ武並
(JA恵那西支店横)
時間 13:30～ | ■恵那北地域
日程 平成31年1月28日(月)
場所 JA加子母経済センター
時間 13:30～ |
| 日程 平成31年2月15日(金)
場所 笠置コミュニティセンター
時間 10:00～ | 日程 平成31年1月30日(水)
場所 JA恵那北経済センター
時間 13:30～ |
- 費用** 塩切米麴 1,730円
 機械使用料 100円(2^{kg}の大豆に対して)
 あい・あい会員会費 500円(JAひがしみの女性部会員に未加入の方)※割引制度あり

※麴は分量の塩が混ぜ込んである塩切米麴を使用して作ります。
 塩切米麴はJAで用意しますが、当日は大豆を各自で煮てご持参下さい。
 7.5^{kg}の味噌ができますので、持ち帰り用の10^{kg}のポリ容器をご用意ください。

詳しい内容については、申し込み頂いた方にご連絡致します。

■お問い合わせ先 JAひがしみの総合企画部 組織広報課
 TEL 0573-78-0124



年末年始の休業日

本・支店

12月29日～1月3日

中津川・恵那・恵南グリーンセンター

12月30日(17時)～1月6日

恵那北グリーンセンター

12月31日(15時)～1月4日

SS(給油所)

恵那・岩村・福岡 12月31日(17時)～1月1日
 (1月2日・3日は短縮営業で9時～18時)

中津川・神坂 12月31日(12時)～1月3日
 坂本・加子母

農機センター・自動車センター

12月28日～1月6日

Aコープ全店

12月31日(15時)～1月4日

※ATMは各店舗で営業時間が異なります。「営業時間のお知らせ」が各店舗に貼付してありますのでご確認ください。1月3日は全店休止します。



【JAひがしみのからの大切なお知らせ】

～JAの自己改革に関する
 組合員調査へのご協力をお願い～



この度、JAグループでは、より一層組合員の皆さまの期待に応え、組合員の皆さまの協同による総合事業によって、魅力ある地域の農業や暮らしを支えるJAであるために、12月より「全組合員調査(JAの自己改革に関する組合員アンケート)」を実施し、自己改革の取り組みに対する皆さまのご意見をお聞きすることといたしました。

今後のJA事業のあり方に関わる重要な調査ですので、役職員がお伺いした場合は何卒、ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

- 対象者** : JAひがしみの組合員の皆さま
- 調査方式** : マークシートによる回答(無記名)ですので個人が特定されることはありません
- 調査内容** : JAの必要性・満足度・准組合員のあり方など
- お問い合わせ**

JAひがしみの 総合企画部経営企画課 TEL 0573-78-0124

農 旬

情報

2018年
12月

第14回ひがしみの農業祭 「農業経営コンクール」 「農産物品評会」結果発表

第14回ひがしみの農業祭で行われた「農業経営コンクール」と「農産物品評会」において、各部門の受賞者をご紹介します。

■農畜産物農業経営コンクール受賞者

(敬称略)

部 門	優 秀 賞			優 良 賞	
	管轄支店	受賞者	副 賞	管轄支店	受賞者
土地利用型 農業の部	落 合	田口 勝徳	中津川市長賞	—	—
野菜の部	明 智	川上 瑛	恵那市長賞	明 智	中垣 幸司
果樹 特産の部	福 岡	志津 健	岐阜県知事賞	坂 下	吉村 繁美
畜産の部	蛭 川	村瀬 信治	岐阜県議会議長賞	上 村	中根 義治
				付 知	(株)横山畜産
				下 野	古田 幸人
複合経営の部	蛭 川	永治 兼明	J A 組合長賞	—	—

※優良賞の土地利用型農業・複合経営の部については対象者はございません。

■新人賞受賞者

(敬称略)

品 目	管轄支店	受賞者
野菜の部	岩 村	安藤 忍
果樹特産の部	岩 村	三園 了三

※土地利用型農業・畜産・複合経営の部については対象者はございません。

■農業祭農産物品評会受賞者

優秀賞

(敬称略)

品 目	管轄支店	受賞者	副 賞
ト マ ト	明 智	井 口 英 博	県 知 事 賞
米	落 合	鈴 木 立 身	県 議 会 議 長 賞
里 芋	福 岡	長 瀬 正 浩	中 津 川 市 長 賞
白 菜	明 智	根 崎 勝 秋	恵 那 市 長 賞
栗	坂 本	土 屋 智 穂	J A 組 合 長 賞
ブロッコリー	下 野	農事組合法人 はちたか	
か ぶ	中 津 川	伊 藤 悠 美 子	
大 根	付 知	熊 谷 政 光	
ネ ギ	下 野	杉 浦 千 代 子	
し い た け	加 子 母	三 浦 篤	

優良賞

(敬称略)

品 目	管轄支店	受賞者
米	恵 那 北 部	嶺 経 善
黒 豆	蛭 川	永 治 弘
ト マ ト	大 門	片 田 友 彦
ト マ ト	加 子 母	所 隆 二
な す	下 野	安 保 守
ブロッコリー	明 智	安 藤 登 夫
か ぶ	中 津 川	小 木 曾 悟 夫
大 根	蛭 川	田 口 辰 夫
丸 大 根	中 津 川	伊 藤 光 輝
赤 か ぶ	大 門	三 尾 智 恵 子
白 菜	恵 那 西 部	田 辺 兼 光 子
ネ ギ	坂 下	吉 村 幸
サ ツ マ イ モ	坂 下	塚 本 剛
里 芋	恵 那 西 部	安 田 訓 惟 子
自 然 薯 芋	恵 那 西 部	伊 藤 勝 順
蒟 蒻	上 村	後 藤 一 助
柿	福 岡	赤 座 太 助
栗	坂 下	森 晃 知
ゆ づ	恵 那 北 部	遠 藤 弘 一
し い た け	加 子 母	宮 本

農業経営コンクール

東美濃管内の農業振興と安全・安心、健康志向等の消費者ニーズが高まる中で、栽培および飼養技術の向上と農業経営の安定向上を図ります。また、新規就農者を対象とした「新人賞」も設定しています。

農産物品評会

東美濃管内で生産される農産物の品質を高め、消費者の皆さまに好まれる農産物作りにより、東美濃のブランド化を図ります。



「クリ基本技術講習会」のご案内

クリ栽培に関する基本知識及び技術習得のための講習会を開催します。これを機に一緒にクリをつくりませんか？

日程

平成31年1月6日(日)、9日(水)、13日(日)、16日(水)

時間

午前9時30分～午後4時30分

会場

6日、9日 中津川市苗木 棚垣クリ園
13日、16日 恵那市長島町久須見 水野クリ園

講師

6日、9日 中津川市栗振興会
13日、16日 恵那市栗栽培振興会

定員

各日20名程度

参加費

無料

持ち物

剪定バサミ、剪定ノコギリ、軍手、脚立
※昼食や飲み物は各自で用意下さい。
※4日間とも同じ講習内容であるため、お1人様1会場のみ受講可能といたします(各会場毎、定数未満の場合に限り複数会場の受講が可能となります)

申し込み先

恵那農林事務所農業普及課

0573(26)1111

(内線3008)

申し込み締切日

平成30年12月19日(水)



彩菜栽

2018年
12月

冬の手入れが翌年の出来を決める アスパラガス



アスパラガスは野菜の中では長命で、一度植えれば数年は収穫が楽しめます。毎年良い収穫物を得るには、冬の適切な手入れが大切です。

若芽の収穫を一定日数で打ち切り、芽を伸ばしたままにすると、葉が開いて丈が伸び、葉の光合成作用が旺盛に行われ、秋になると同化養分がねに蓄えられ、11月～12月には株全体が休眠に入ります。霜が3～4回

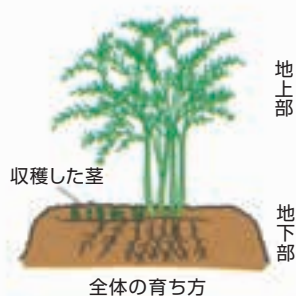
降りると葉の黄化が進み、休眠はいつそう深まってきます。

ここから先の手入れで大事なことは、葉が完全に黄変し、休眠が深まっている頃を見計らって、地際から5～6cm上のところで葉を刈り取りま

す。この枯れ葉には茎枯れ病などの病原菌が付いているので、落ち枯れ葉と共に畑の外に持ち出し、焼却または廃棄します。この処置が不十分だと、病原菌が茎葉の中で越冬し、翌年の発生源になるからです。できるだけ丁寧にかき集めて処分することが肝心です。これら病害が発生すると、数年たった大株でも枯死し、大減収になってしまいます。

地域ほど土を大きく盛り上げることが大切です。こうして越冬後の3月ころ、芽の萌芽に支障のない程度に土を取り除き（寄せ土戻し）、畝間に土を落とします。このときに春の追肥として、化成肥料や有機配合の肥料などを、1株当たり各大さじ3杯程度を目安に与えておきます。再三土を動かすことにより、地面付近に落ちていた雑草の種子の発芽を抑えられ、翌年の除草の手間が省けます。

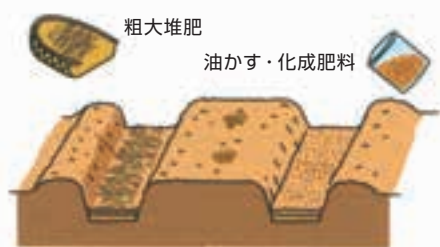
栽培年数が長くなり、株元の根系が過密になり、株全体が浮き上がるようになったら、冬の休眠中に株全体を掘り上げ、分割して他の畑に、株間を広げて植え替えることで、再び勢いは回復するでしょう。



全体の育ち方



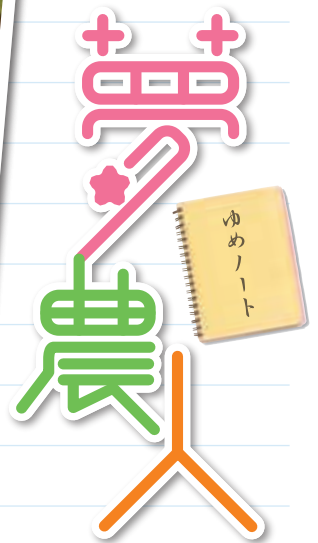
葉が完全に黄変したら
地上部を刈り取る



畝間の通路部分を中耕しながら施肥



畝上に土を大きく盛り上げ防寒する



恵那市笠置町 ^{かずゆき}
遠藤 和志さん(67)

ゆずの香る町づくりに地域一丸

ゆずで町の活性化や特産品づくりに取り組む「かさぎゆず組合」では現在44戸が約1,000本のゆずの樹を管理。遠藤さんは組合が発足した平成24年から、ゆずの栽培や加工に尽力しています。

笠置町は日当たりが良く霜が降りにくい自然環境を活かし、古くからゆずが栽培されてきました。今年は夏の暑さの影響を受けやや小玉傾向ですが、順調な生育と表年ということもあり、昨年の出荷量4tを大きく上回る12tを確保。加工所では11月上旬から12月上旬にかけて、ゼリーやジュースなどの原料として、果汁や皮、ゆずペーストの一次加工作業に大忙しでした。

11月18日に開催された「第9回笠置ふるさとゆず祭り」には約3,000名の来場客で賑わいました。今回は会場を「たべる」「みる」「あそぶ」などでエリア分け。生のゆずの販売をはじめ、地元のこども園や小中学生の作品展示、スタンプラリーなど、1日中体験・遊べる内容となりました。遠藤さんは「開催前に中学生によるゆずの収穫がテレビで放送された効果大きい。地元以外の方にも、ゆずと笠置町の魅力を知ってもらえた」と笑顔を見せます。



今後はゆずの品質と収量を維持・確保するため、組合内での選果や剪定技術のさらなるレベルアップを目指す遠藤さん。「生産者の所得向上に繋がれるような、仕組みや活動を展開できれば」と前向きです。

「いいなかギフト」 取扱いスタート

笠周3町(飯地、中野方、笠置町)が連携して、地域の特産品をPRするギフトセットができました。笠置町の商品はポン酢やゼリーなどの詰め合わせです。

お問い合わせは笠置コミュニティ
(0573-27-3110)



ふれあいツアーは 高校生レストランとみかん狩り

ふれあいセミナーの第5回となる「ふれあいツアー」が11月3日から計6日間催行され、あい・あい会員171名が参加しました。

今回の行き先は三重県多気郡多気町の「五桂池ふるさと村」。様々な体験が出来る複合施設です。敷地内にある高校生レストラン「まごの店」で昼食をとりました。このお店は調理師を目指す相可高校食物調理科調理クラブの生徒がレストランの経営・調理を行う全国でも珍しいお店です。今回は3種類あるメニューの中でも一番人気の「花御膳」を注文。天ぷらや煮物など、地元の食材を活かし、栄養バランスや盛り付けにもこだわっています。中でも名物のだし巻卵は、卵の上ののっている松阪牛のしぐれ煮との相性も抜群。また店内に設置された大きなスクリーンには高校生の調理の様子が映し出され、大人顔負けの包丁さばきや真剣な顔つきに思わず魅了されました。

昼食後は同敷地内でみかん狩り。広いみかん園では樹によるみかんの色づきも大きさも様々。採ったばかりのみかんを試食した参加者は「甘酸っぱくて、美味しい」と笑顔。20個以上のみかんを持ち帰りました。



☆JAの星

恵那西支店
西尾 杏菜



Profile

担当：金融窓口
入組：2年目
出身：中津川市駒場
血液型：A型
趣味：旅行

もっと身近な存在に

お客さまに心を開いて頂けるよう、窓口では身近な話題やなにげない会話を大切にしています。

訪問日等を活用して今後も各種キャンペーンのご案内に努めたいです。

キラキラ ひがじみのっ子



中津川市付知町

伊藤 玲湊さん(9)・芹羽さん(11)・禅くん(6)

これからも3人仲良く

しっかり者の芹羽さんと玲湊さんに、未っ子の禅くん。けんかをすることもあるけれどすぐに仲直り。お家の中はいつもにぎやかです。「毎日楽しく過ごしてほしい。周りへの思いやりを大切に育ててほしい」とお母さんは願います。

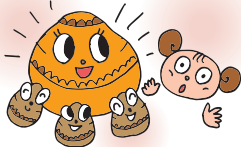


ひがし君・みゆちゃんの おはなし日和



里芋は栄養価が高く、冬のあったか料理にはぴったりですね。

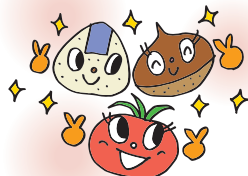
里芋の収穫は大変な作業です。小さな子芋にも孫芋、ひ孫芋があることにはびっくりです。



これからも組合員・利用者の皆さまとのふれあいの時間を大切にしていきたいです。

毎月の訪問日では職員の方の温かい声と笑顔を楽しみにしています。誕生日にはプレゼントも届けていただき、ありがとうございます。

ご来場いただき、ありがとうございます！秋晴れのもと、地元産の美味しい農畜産物をたくさん味わっていただけたことと思います。



「第14回ひがしみの農業祭」に出掛けました。好天に恵まれ、大勢の来場者で賑わっていて楽しかったです。



当JA恵那北部支店は11月1日、マレットゴルフ大会を開催し、飯地・中野方・笠置地区から67名が参加しました。



当JA恵那地域4支店は10月26日、組合員・ご利用者の皆さまを対象にゴルフコンペを開催し、130名が参加されました。優勝は加藤浩二さん（長島町）が輝きました。



当JA飯地営業所に10月31日、飯地こども園の園児14名が、ハロウィンの仮装で来店しました。

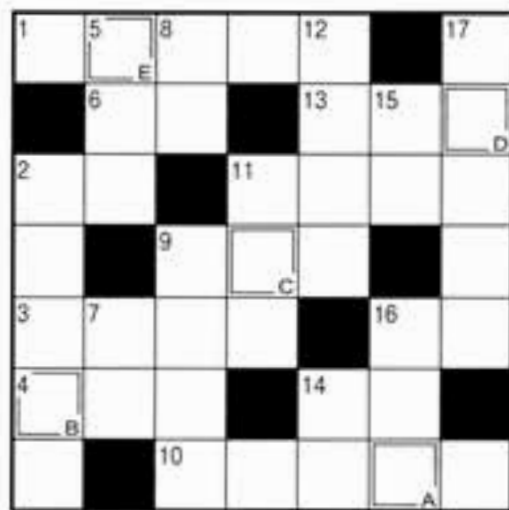
頭の体操

■ヨコのカギ

- ① サンタさんが靴下に入れてくれるかも
- ② 腰を掛ける家具
- ③ 自動車を洗ってからかけます
- ④ ブームが去った状態です
- ⑤ 牛や豚などの舌の肉
- ⑥ 15歳が志学、30歳が而立（じりつ）なら40歳は
- ⑦ 肉や魚を裁断したときに出る余りのところ
- ⑧ 赤——だから青になるまで待とう
- ⑨ カレ——ハヤシ——
- ⑩ 地獄谷にいるものは温泉に入ります
- ⑪ それとこれとは話が——だよ

■タテのカギ

- ① 磐梯山の南側にある——湖
- ② タマヂシャとも呼ばれる野菜
- ③ 建物の壁を覆うこともある植物
- ④ 悪の反対語
- ⑤ 歳末大売出しの——で2等が当たった
- ⑥ 陰暦12月の異称
- ⑦ 自動車の荷物を入れるところ
- ⑧ 洗濯物をぶら下げます
- ⑨ 棋士が打つもの
- ⑩ 腰に巻いてバックルで留めます
- ⑪ 賛成する人が多い意見を採用すること



【問題】二重マスの文字をA～Eの順に並べてできる言葉は何でしょうか？

■応募要領

ハガキにクイズの答えと、郵便番号、住所、氏名、年齢、職業、電話番号、JAまたは広報誌に対する意見、要望などをご記入の上、下記までお寄せ下さい。

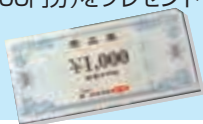
〒509-9132 中津川市茄子川1646-19
JAひがしみの 本店 総合企画部 組織広報課

■応募締切日

平成30年12月21日(金)

■賞品

正解者の中から抽選で10名様に農協全国商品券(1,000円分)をプレゼント



■11月号の答え

バンシュウ(晩秋)

■クイズ当選者(敬称略)

和田 文子、加藤 正美、糸魚川 幸子
原田 知典、安江 貞子、安藤 日佐子
山村 千恵、川上 紀江、伊佐地 幸代
杉山 みえ子



理事会

第7回理事会

(平成30年11月22日)

次の事項が報告、または審議されました。

【附議事項】

- ①不祥事に対する再発防止策について
- ②役員退職慰労金の支給について
- ③平成30年度冬期賞与の支給について
- ④平成30年度上期ディスクロージャー(半期開示)について
- ⑤住宅ローン(全国保証型)融資要綱の一部改定について
- ⑥理事との利益相反契約について

【報告事項】

- ①内部監査結果の報告について
- ②コンプライアンスマニュアルの改定について
- ③平成30年度上期苦情対応状況について
- ④平成30年度地域別座談会の開催及び特記事項の報告について
- ⑤自己改革に関する組合員アンケートについて
- ⑥理事との利益相反契約の結果について
- ⑦10月末の事業実績について
- ⑧その他

JAひがしみの概況

(平成30年10月31日現在)

組合員数	32,420人
出資金	26億2,463万円
貯金	2,219億8,938万円
貸出金	389億5,024万円
共済保有高	6,419億0,910万円
購買品供給高	37億2,619万円
販売品取扱高	27億6,343万円

ここだけの話

■「ひがしみの農業祭」が盛大に開催されました。今年は農畜産物や加工品の販売はもちろん、地元高校生におけるスタンブリーや吹奏楽、キッズダンス、女子大生の書道パフォーマンスなど、学生の皆さんが大活躍してくれました。来年も楽しい企画を考えますのでお楽しみに。(も)

■「ちなみな」が12月26日に放送されます！収録はバタバタしましたが、無事に終わりほっとしています。そして相変わらずのちなみさんの美貌にうつろい。

今回もひがしみの美味しい農産物を知ってもらうとともに、出演していただいた方々の温かい人柄や地域性が伝わればと思います！(な)

無料相談日

JAでは、各種相談日を設けていますので、お気軽にご利用ください。各相談場所へ事前に電話予約をしてください。

内容	月日	場所
年金相談	12月 12日(水)	恵那支店
	12月 //	坂下支店
	12月 19日(水)	中津川支店
	12月 //	加子母支店
	12月 //	付知支店
	12月 //	下野支店
	1月 9日(水)	山岡支店
法律相談	12月 13日(木)	本店
	12月 *19日(水)	下野支店
	12月 //	恵那支店
	12月 //	山岡支店
法律相談	1月 9日(水)	下野支店
	1月 10日(木)	本店
税務相談	12月 12日(水)	恵那支店
	12月 //	山岡支店
	12月 21日(金)	中津川支店
	12月 //	下野支店
	1月 9日(水)	山岡支店
	1月 22日(火)	本店

*12月12日(水)の下野支店法律相談日は19日(水)に変更になりました。

葬儀無料相談

内容	月日	場所
葬儀相談 10:00~14:00	12月 6日(木)	JA葬祭
	12月 10日(月)	アグリホールえな
	12月 16日(日)	☎0573-22-9876
	12月 22日(土)	
葬儀相談 10:00~14:00	1月 8日(火)	JA葬祭
	1月 14日(月)	アグリホールえな
	1月 20日(日)	☎0573-22-9876
	1月 26日(土)	

ご案内窓口 市外局番 ☎(0573)

本店	☎78-0124	上村支店	☎47-2311
中津川支店	☎65-3144	坂下支店	☎75-4111
恵那支店	☎25-5291	加子母支店	☎79-2241
山岡支店	☎56-2121	付知支店	☎82-2121
明智支店	☎54-2171	下野支店	☎72-2061

ふれあい訪問日

平成31年1月の
ふれあい訪問日 **8日(火)・9日(水)**

緊急連絡先

事故をしてしまったら	TEL 0120-25-8931
通帳・キャッシュカードを無くしてしまった	TEL 0120-215-522
葬儀に関するご相談は	TEL 0120-09-8382
電化製品のお問い合わせは	TEL 0573-78-0122
プロパンガス・ガス器具のお問い合わせは	TEL 0573-68-7744



(カレンダー応募作品より)

自宅の田んぼで撮影しました。快晴ですが、とても寒い朝だったことを覚えていきます。日差しが当たるとすぐに溶けてしまう景色なので、撮影できて良かったです。

今月の表紙

霜柱のジュータン
撮影：吉田和正さん
(中津川市付知町)
撮影地：中津川市付知町



レシピ アサリだしハクサイロール

材料（4人分）

ハクサイの葉(下ゆでした物)……大8枚	アサリ ……………1パック
【A】豚ひき肉……………100g	塩・こしょう……………適宜
タマネギみじん切り……………1/2個分	しょうゆ……………大さじ1
おろしショウガ……………小さじ1	みりん……………大さじ1
塩・こしょう……………適宜	水……………5カップ
	トマト……………大1個



作り方

- ① 【A】を全てボウルに入れ粘りが出るまで混ぜ合わせ、4つに分け団子状に丸める。ゆでたハクサイの葉を交互に並べて肉団子を置き手前から巻いていき、つまようじで留め、ハクサイロールを作る。
- ② 鍋に水、砂抜きしたアサリを入り火にかけ、沸騰したらアサリを取り出しむき身にする。
- ③ ②のアサリだしにしょうゆ・みりん・ハクサイロールを入れ中火で15分煮込み、塩・こしょうで味を調べ、火から下ろす(1時間ほどなじませる)。
- ④ ③を器に盛り付け、むき身にしたアサリと、熱湯に入れ皮をむきつぶしたトマトをあしらい、ハーブ(材料外)とパケット(材料外)を添える。

インターネット動画サイト「GYAO!」
で農業応援番組を配信しています。



JAひがしみのホームページ

ひがしみの産の美味しいレシピや食材、最新情報はこちら
<http://www.ja-higashimino.or.jp/>

JAひがしみの

検索



Heartful Communication ひがしみの

①

発行：東美濃農業協同組合(JAひがしみの) ●DECEMBER / Vol.249 2018年12月1日発行
編集：総合企画部 組織広報課 〒509-9132 岐阜県中津川市茄子川1646-19
TEL0573・78・0124 FAX0573・68・7724 (E-mail) koho@ja-higashimino.gjadc.jp

お問い合わせは

店舗名

担当者名

です。